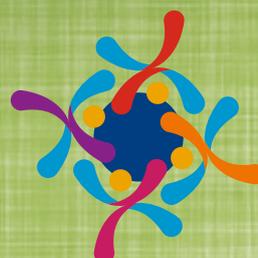


2019-2020 ガバナー月信 GOVERNOR'S Monthly Letter

11



2019年8月3～5日、マーク・ダニエル・マローニーRI会長とゲイ夫人が東日本大震災の被災地の復興を願い被災地を訪れた。
『八戸でのIM』、『福島の相双6クラブ合同例会』、福島の裏磐梯レイクリゾートでの『RI会長ご夫妻歓迎晩餐会』に出られ、その後、東京、鎌倉、名古屋の地区を訪問し、帰国された。私たち5地区からのガバナー夫妻もこの3日間、同行させて頂いた。



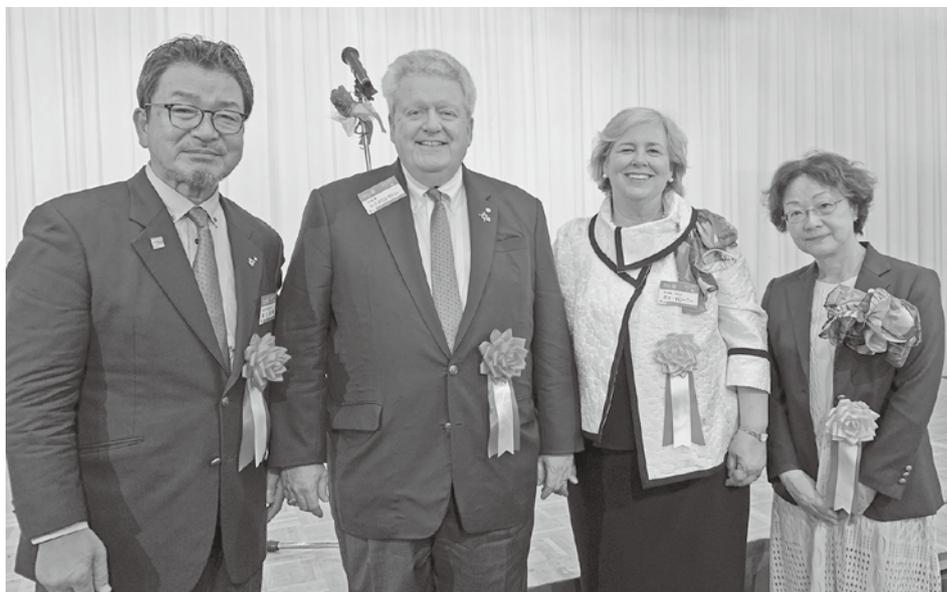
ロータリーは
世界をつなぐ

国際ロータリー第2510地区 2019～2020年度ガバナー 福田 武 男

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail : rid2510@pxva.ne.jp http://rid2510.org

2019-2020年度国際ロータリーのテーマ

「ロータリーは世界をつなぐ」



国際ロータリー第2510地区 2019-2020年度地区目標

—自分を見つめ直し、若者を支援し、ロータリーの未来を語ろう—

1. みんなで手をとってクラブを強化しよう

- ① 既存会員の維持と、地域の職業分類を調査・活用して更なる会員増強を推進し、クラブ会員の後継者を含めた若者たちへ向けて「ロータリー衛星クラブ」の設立を推奨し、ロータリーを成長させる。
- ② 女性会員や40歳未満の会員の入会を特に推進し、RAC全国研修会に向けてRACの拡大・増強を支援する。
- ③ ロータリー理解推進のため「ガバナー月信」を充実させ、ホームページをアップグレードし、「世界を変える行動人」キャンペーンを促進し、広報活動を推進する。

2. ロータリー財団へ寄付推進し、フルに活用しよう

- ① ロータリー財団への寄付を推進すると共に、クラブでは本年度特別に使用できる分も含めてDDFを十分に活用し、グローバル補助金も視野に地域社会および海外でのプロジェクトが増加するよう支援する。
- ② 「世界ポリオデー」には、世界のポリオ撲滅でWHOなどと共にロータリーが果たしている役割を広く地域に伝えるよう各クラブに奨励する。
- ③ 財団への年次基金とポリオプラスへの寄付を増やしつつ、恒久基金においても2025年までに20億2500万ドルへ成長するよう支援していく。

3. ローターアクターなど若者や新会員を支援しよう

- ① クラブに入会して5年以内の会員を対象に「新会員交流会」を開催し、ロータリーへの理解を深めてもらう。
- ② 米山記念奨学会への寄付の増進を図ると共に、この制度が地区内すべてのクラブにより一層理解され、また奨学生が卒業日本との架け橋になれるように支援する。
- ③ クラブには「クラブ研修リーダー」の設置を奨励するとともに、積極的にロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI) セミナーに参加してもらい、RLIセミナーがこれからの「ロータリーの学びの場」となるよう認識を広めていく。

CONTENTS

●ガバナーメッセージ	1	●2019-2020年度 国際ロータリー第2510地区 インターアクト研修旅行記	19
●ガバナーノミネー候補者推薦のお願い	3	●2019-2020年タイ・カンボジア検証ツアーご案内	20
●ロータリー財団月間にあたり「世界で良いことをしよう」	4	●2020年 ハワイ・ホノルル国際大会のご案内【続報】	21
●地区補助金について	5	●新会員のご紹介／九州北部豪雨災害と台風15号による千葉大規模 停電義捐金報告／米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付	24
●ポール・ハリス語録	7	●ハイライトよねやま	25
●「米山月間を顧みて」	8	●ロータリーコーディネーターNEWS	26
●地区大会を終えて	9	●地区カレンダー(11月・12月)／ロータリーレポート	27
●写真で見る地区大会	10	●出席率・会員数(9月)	28
●ガバナー公式訪問報告	12	●職業奉仕小話／文庫通信	29
●ロータリーの本No.5	17	●クラブ活動 写真集(第3グループ 第4グループ 第5グループ)	
●米山奨学生ご紹介	18		



地区大会で多くの皆さまに感謝

国際ロータリー第2510地区

2019—2020年度ガバナー

福田 武男
(千歳RC)

【令和元年の台風災害への義援金のお願い】

台風15号に続き地区大会が終わった1週間後の10月12日、日本に上陸した台風19号は、関東、甲信越、東北の広い範囲で各地に甚大な被害をもたらしました。それ以降の豪雨被害も含めると現在までの被害は13都県以上にも及び、多くの河川が氾濫し、土砂災害も相次ぎ、多くの住宅浸水、停電などインフラの被害は計り知れません。死者・行方不明者は100名近くになっております。亡くなられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

これから益々寒くなる中、1日も早い復興を祈念しております。このような被害状況を踏まえ本地区と致しまして、各クラブの皆さまにご理解とご協力のもと義援金を募りたいと思っておりますので、何卒、皆さまの温かいご支援を宜しくお願い申し上げます。

今回の災害は余りにも広範囲で多くの県に及んでおりますので、11月16日に神戸において開催されます「ガバナー会」において、何処にどのように支援するかを決めることになると思っております。

【11月はロータリー財団月間】

11月は「ロータリー財団月間」です。今年度のマーク・マローニーRI会長の4つの強調事項の一つにあげているのが、「国連との連携」であります。その中で、「国連が掲げる持続可能な開発目標—SDGs」への協力を呼びかけております。

自分たちが生かされている地域社会に奉仕活動をするのは勿論大切なことですが、私たちロータリアンは世界の動向にも目を向けなければなりません。

現在、地球は悲鳴をあげております。瀕死の地

球、これは地球温暖化の影響でしょうか。日本において前述しましたように、特に今年に入って各地で異常気象やそれによる災害が続いております。

SDGs(Sustainable Development Goals)は、2000年の国連サミットで採択されたMDGs(ミレニアム開発目標)が2015年に終了したことで、これに代わる新たな世界の目標として定められたものです。

世界の多くの国々、多くの企業が参加して、17のグローバル目標、169のターゲット(達成基準)に向けて、2030年までに達成しようと世界中で取り組んでおります。『誰も置き去りにしない』はSDGsの目標です。

勿論、私たち一人ひとりにもできることはあります。2030年の世界を変え、その先の未来に引き継いでいくためには、各自がSDGsをそれぞれの生活の中に浸透させていくことがとても大切なことです。

しかし、ロータリーが世界の中の大きな団体としてこの国連の運動を支援していくためには、ロータリー財団への支援が欠かせません。

ポリオの根絶もあと少しです。This Close!ポリオへの30ドルの支援と、ロータリー財団への、『Every Rotarian, Every Year』、一人150ドルのご支援に向けて努力していきましょう。

【地区大会への登録に感謝】

10月4～5日、千歳市北ガス文化ホールとANAクラウンプラザ・ホテル千歳において、RI2840地区、群馬県の前橋から本田博己国際ロータリー会長代理ご夫妻をお迎えし、地区大会を開催させていただきました。微かに冬の到来を思わせるような肌寒い候の中、青少年、家族、他地区からの方々を含めて1,600名近い参加・登録を頂きましたこと、心より感

謝申し上げます。

今年度初めて開催しました「記念パークゴルフ大会」は、1週間前の9月28日、恵庭の「花夢里(かむり)」におきまして47名の参加により素晴らしい秋晴れの中で開催することができました。ホストをして頂いた恵庭ロータリークラブの皆さまたいへんご苦労さまでした。

しかしながら4日早朝からの「記念ゴルフ大会」は極めて稀にみる土砂降りとなり、121名登録の中で40名のキャンセル(私が無理しないでと説得)があり81名の参加で強行しましたが、やはり皆さまの体調に影響があってはならないということでハーフにて終了ということに。それでも用意した参加賞や賞品などすべてプレーされた方々にお配りしつつ和やかな中で表彰式ができました。またプレーできなかった40名の皆さまには別にお詫びの印を郵送させて頂くことで、参加されたすべての皆さまの寛大な心のお陰をもちまして、何とか記念ゴルフ大会を終えることができました。大会を準備して頂いた千歳セントラルロータリークラブの皆さま、たいへんな雨の中、辛い思いをさせたとと思いますが、お疲れさまでした。大会の準備に当たった方々に心より感謝申し上げます。

また、5日の本大会では、ホストの千歳ロータリークラブはじめコ・ホストの第7グループであります千歳セントラルロータリークラブ、恵庭ロータリークラブ、北広島ロータリークラブ、長沼ロータリークラブ、由仁ロータリークラブの皆さま、そして武石忠俊大会実行委員長はじめ大会実行委員会の皆さま、地区幹事会の皆さま、地区役員、委員会の皆さまにも大変お世話になりました。心から感謝申し上げます、ありがとうございました。

地区指導者育成セミナーでは、青森県の五所川原から山崎淳一RI研修リーダーをお呼びして講演をいただき、その後、酒井正人PGと私の3名による『ロータリー放談』ということで、とても有意義な時間を持つことができたと思っております。

また、本田RI会長代理のお話も、ロータリーの核心である「奉仕の理念」を深く探求する内容であり、今大会の内容すべては私が今年度を通じて各クラ

ブの皆さまに伝えようとしている思いと大いに通じるものがあり、参加された皆さまにとっても、派手さは無くとも大いに刺激になった大会ではなかったかと自負しております。2019～2020年度は、もう一度足元を見直す年度、ロータリーを学び直す年度であります。最後に、陰ながら精神的にサポートして頂いたパストガバナーの皆さま、地区役員の皆さまにも心から感謝申し上げます。

【インターアクト週間】

1962年11月5日に世界で最初のローターアクトクラブができたことに因んで、毎年11月5日を含む1週間(月～日)を『世界ローターアクト週間』としておりますが、今年度はインターアクトがより『ロータリーとつながる』よう、すべての高校に表敬訪問を予定しております。

- ① 北海道大谷室蘭高等学校(室蘭東RC提唱)
1965年、11名
- ② 希望学園札幌第一高等学校(札幌RC提唱)
1966年、8名
- ③ 北海高等学校(札幌東RC提唱)
1971年、30名
- ④ 札幌龍谷学園高等学校(札幌モーニングRC)
1993年、8名
- ⑤ 札幌山の手高等学校(札幌西北RC)
2001年、11名
- ⑥ 北海道岩見沢緑陵高等学校(岩見沢RC)
2012年、19名

現在、札幌厚別高校がインターアクトクラブの設立を検討中です。更に札幌から恵庭の北海道文教大学の敷地内に移転中の明清高校でも設立の動きがあります。

第7回全国インターアクト研究会は、2019年4月28日に福岡で開催されましたが、今年度は山形市で2020年4月25日、第8回が開催予定です。

2023年の第11回を2510地区で開催するようにとの打診があり検討が必要とのこととです。

【今までとは違った形で増強を！】

ロータリアンの4つの義務】

ロータリークラブの新会員には3つの義務があると言われております。

それは、

- (1) 年会費を納めること。
- (2) 例会に出席すること。
- (3) ロータリーの機関雑誌(ロータリーの友)の購入・講読をすること。

ですが、もう一つ大切なことがあります。それは入会の時からすぐに新会員の承諾を得るのは難しいのですが、いずれ機会を見つけて徐々に・・・

- (4) 『ロータリーの目的』を受諾し信奉してもらうことです。

※ 信奉:特定の宗教や思想などを最上のものと信じて尊び、それに従うこと。

ロータリアンはいずれこの『ロータリーの目的』を受諾し信奉しなければなりません。昔はこの辺のところは少しずつ例会やファイヤーサイドミーティングで指導されていたと思いますが、最近はこの『ロータリーの目的』のことが忘れられているようです。ここ数年、「ロータリーが分からない」という意見をよく聞きます。私のロータリー歴は31年ですが、1988年の入会の頃はよく夜間例会後の二次会などでロータリー談義に参加させられたものです。訳の分からない言葉ばかりで閉口した記憶があり、今となっては懐かしい思い出です。しかし最近では余りロータリーのことを話すのは敬遠される傾向があるようです。

しかし一方で、ロータリーはよく分からないと言う声が増えてきているようですが、ロータリーを難しく

捉え過ぎているのかも知れません。ロータリーを学ぶと言っても、いろいろな「ロータリー用語」や「手続要覧にある規則」を学ぶではありません。それらは必要な立場になったら自然と身に付くものです。

もっとシンプルにロータリーを理解しましょう。それにはいわゆる職業奉仕から入らずに、ロータリーの核である『奉仕の理念』から入りましょう。ここ20年の間に、ロータリーの必要条件であった「職業分類」と「例会出席」が著しく形骸化されてしまいましたが、この『奉仕の理念』だけは本当の『ロータリーの核』であり、私たちの永遠の目標です。もう一度ロータリーの基本に立ち帰り、『ロータリーの目的』の理解を通じてロータリーの魅力を発見しましょう。

今年度のマーク・マローニーRI会長は、「世界では毎年約10万人が入会してくるが退会者が約10万人いるので、120万人のままであり、なかなか増えていかない」と言っております。しかし120万人を維持しているのだから、それなりの努力の成果はあったのではないかと思うのですが、そうではなく、支援を必要としている発展途上国が増えてきており、支援をする側の先進国の会員が減少しているとのこと。すなわち、世界のロータリーの勢いは徐々に下降傾向にあるということです。そこで『今までとは違った方法で会員増強』をして欲しいと強く要望しております。

では、我が地区に相応しい『今までとは違った方法』とは・・・

- (1) 衛星クラブを設立して、クラブと地域の若者の間に橋を架けること。
- (2) ロータリーの魅力を伝えて増強すること。

ガバナー月信12月号に続きます！

2022-2023年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 福田 武 男

地区ガバナー指名委員会 委員長 武 部 實

2022-2023年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員が在籍しており、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、2019年12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(様式任意)をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナーノミニー資格条件につきましては、国際ロータリー細則第16条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適合していることを要します。

[参考]国際ロータリー細則第14条(ガバナーの指名と選挙)

国際ロータリー第2510地区ガバナー指名委員会規定
(2005-2006年度地区大会決議第10号)



ロータリー財団月間にあたり 「世界で良いことをしよう」

国際ロータリー第2510地区

地区ロータリー財団 委員長 **熊澤隆樹**
(小樽RC)

ロータリー財団は、1917年、米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会において、当時のアーチ・クランプリ会長が「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でより良いことをするために基金をつくろう」と提案したことで誕生しました。数か月後に、この新しく誕生した基金は、米国ミズリー州カンザス・シティRCから米貨26ドル50セントの最初の寄付を受け取りました。それが、1947年ポール・ハリスが亡くなると、その死を悼み、会員からの寄付金がロータリー財団に寄せられ、1948年6月には基金が100万ドルに達しました。

現在では、2018～2019年度の世界の目標額は3億3700ドル、2019年4月22日現在、日本の寄付総額は約1500万ドルで、米国、韓国について三番目です。ちなみに当地区は4万8000ドルです。

ご存じの通り、財団は三つの寄付により運営されています。

一つ目は、**年次基金**(毎年全会員にお願いする基金で3年間運用し、その全てが事業に使われます)。二つ目は**恒久基金**(元金を使わず運用収益を翌年度の活動に使用)。三つ目は**ポリオプラス基金**(確定利付証券のみに投資される)。国際ロータリー財団の収入は、国際ロータリーの約4倍で、財団の外部評価は、チャリティー・ナビゲーターによる慈善団体への最高4つ星と評価され、財団状況と透明性、説明責任などを総合して評価されています。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて**世界理解、親善、平和を達成できるようにすること**であります。

ロータリー財団の役割は、国際ロータリーの承認

を得て目標を実現していくことであります。

第2510地区のロータリー財団委員会は4つの小委員会があります。

財団補助金委員会(澁谷良治委員長)、財団資金推進委員会(島義慈委員長)、財団奨学生・学友委員会(出村知佳子委員長)、ポリオプラス委員会(伊藤利道委員長)、その他にロータリー平和フェロー担当 菅原秀二委員で構成されています。

今年度の補助金委員会は39クラブ(673万9929ドル)、地区委員会の6つの活動プロジェクト(544万8627ドル)、合計1218万8556ドルの補助金の申請を承認しました。

財団奨学金・学友委員では、すでに2つの大学グローバル補助金で留学している清水一紀、重井真琴奨学生がおり、月次報告もされております。ほかに地区補助金の覚知頌春、石井貴大奨学生がおります。ポリオプラス委員会も各クラブへの10月24日のポリオディーの支援をしております。

今年度からポリオ撲滅から根絶になりました。2014年のインドでのポリオの根絶から5年を経過しました。その後、常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3か国でしたが、ナイジェリアは2016年8月21日に最後の発症が確認されて以来、野生株での発症は今日まで認められていません。近いうちにはナイジェリアが常在国から外れ、残りは2か国になるそうです。

3年前のロータリー財団への寄付金の半額が、今後DDFとなって戻ってきます。

DDFは、地区補助金やグローバル補助金として利用する他、ポリオプラスやロータリー平和センター、あるいは他の地区に寄贈できます。

どうか地域ニーズに合ったDDFを使った奉仕活動を早めに計画してください。



地区補助金について

地区財団補助金委員会
委員長

澁谷 良治
(札幌真駒内RC)

2019～2020年度 地区補助金申請承認内容

No.	地区委員会 またはクラブ名	簡単な説明	承認金額 (円)
1	留萌	留萌管内少年軟式野球小中学生と所属クラブの指導者・各関係機関を対象としたベースボールクリニックと指導者育成セミナー・講演会を実施する。	150,000
2	芦別	2015年より北空知地域のサッカー少年団の10歳以下を対象としたサッカー大会を実施している。これからの時代を担っていく子供たちがスポーツを通じて心身共に健やかに成長してほしいという思いで事業を継続実施する。	96,444
3	砂川	2017年より植樹した砂川RCの桜は、砂川市内を流れるペンケ歌志内川河川敷で「さくら保育園」が隣接している。桜並木の名所として園児たちの散歩や市民の憩いの場になるよう継続する。	120,000
4	滝川	「ダビンチ・プロジェクト」は、市内で最も多くの車両や市民、児童・生徒が通る交差点である滝川市文京町内のコンクリート擁壁に描かれている壁画が古く劣化したので修復作業を行う。児童・生徒が夢や希望、明るさを感じてくれることを願っている。	300,000
5	江別	江別市社会福祉協議会の「福祉機器貸与事業」に協力し、在宅治療者向け電動ベッドを寄贈する。	100,000
6	岩見沢	岩見沢インターアクトクラブメンバーがボランティアとして子供食堂に関わる。課題や困難を抱える子供達だけでなく、活動を通して学生やボランティアなどが地域を盛り上げ、若い世代の健全な育成、子供たちへの将来の育成の取り組みをする。	200,000
7	岩見沢東・栗沢	岩見沢市で開催される障がい者の祭典「いけまぜ夏フェス2019inいわみざわ」に於いて栗沢RC、岩見沢東RCの2クラブ合同で参加者及びボランティアスタッフへの昼食の提供を行う。ロータリアンもボランティアスタッフとして協力する。	200,000
8	当別	当別町において社会現象にはなかなか表出してこないが、貧困世帯は水面下で確実に増加している。計6か所で開催されている地域コミュニティー食堂の支援をする。	100,000
9	札幌北	『ハンディキャップを抱える子供達への就業支援と職業教育事業』は、親からの虐待等で児童養護施設にて生活する子供達、一般家庭の子供達と比べ社会からドロップアウトする確率が高い。ダウン症の子供たちは、就労や職業教育に課題を抱えている。	304,200
10	札幌モーニング	カミネッコン植樹支援活動。実施場所：富丘小学校、新川保育園、手稲丸山都市環境林で実施予定。 注：「手稲丸山年環境体」は「手稲丸山都市環境林」では	158,477
11	札幌西	ピンクリボンinSAPPORO 2019の支援。女性のがんで一番多い「乳がん」に着目して、健診、啓発活動の現状を認識し、支援する。	150,000
12	札幌手稲	「防災・減災について考えよう！」講演会・発表会を札幌市生涯学習センターちえりあにおいて札幌市西区・手稲区の中学校(19校)の生徒各5～10人を対象として、国土交通省職員が「防災・減災に向けた取り組み」について講演する。	200,000
13	札幌東	札幌大学体育館で「ろう者と健常者との交流フットサル教室」を開催する。	500,000
14	札幌清田	札幌市立有明小学校の子供たちが本に親しめる環境づくり促進として図書を寄贈する。	100,000
15	札幌幌南	NPO法人「ねっこぼっこのいえ」は、札幌市地域子育て支援拠点に指定されている。資料作成や広報活動の必要機材のパソコンが買い替え時期が迫ったので支援する。	196,398
16	札幌真駒内	クラブで真駒内公園内に植樹を続けてきた八重桜並木の保護事業。時間の経過とともに枯れた木もあり、植樹を継続する。	180,000

17	札幌南	「ひとり親家庭クリスマス会」当クラブ会員トーキル・クリステンセンがサンタクロースに扮し、子供たちにプレゼントを渡す。	250,000
18	新札幌	厚別区区政30周年記念事業の厚別福祉事業として車椅子2台、ベビーカー2台を寄贈する。	90,000
19	岩内	小学生手作り絵本コンクール。岩内はかつて「絵の町」と呼ばれるほど、多数の画家を輩出し、木田金次郎美術館、ピカソ美術館などがある。郷里を誇れるきっかけを作り、自信や創作意欲を持たせ、参加者を通じて町全体にも良い刺激を与えている。	100,000
20	小樽	「いのちの森植樹祭」奥沢水源地に広葉樹を植林する。落葉が川を豊かにし、自然の連鎖に役立つ。	200,000
21	小樽銭函	銭函近隣の少年野球チームによる少年野球大会を当クラブ主催で銭函小学校にて開催する。今年度で36回目となる。親子が触れ合う家族団らんの機会にもなり、青少年の心身ともに健全なる育成に寄与できる。	89,000
22	千歳	千歳市が運営する「子育て支援センター」が13か所ある。年々需要が多く昨年から3か所増え、市から遊具寄贈の強い要望を受けたので継続寄贈する。	147,950
23	千歳セントラル	千歳高等学校と千歳北陽高等学校で北海道胆振東部地震の被災者に「震災はきっとまた起こる」を体験者により講話していただき、防災に対する知識、行動への糧にする。早来中学校に防災物品を寄贈する。	160,000
24	恵庭	青少年育成事業の一環として市内の神社祭において小学生を対象とした奉納子供相撲大会を通算30回に亘り開催している。土俵周りの保護用マット及び関連する備品を設置したい。	100,000
25	北広島	クラブ創立時の北広島駅前広場に時計を寄贈したが、停止したため修理の要望もあり新しく寄贈する。広場、駅、バスを利用する多くの市民、特に子供たちの役に立ってほしい。	100,000
26	三石	新ひだか町三石特別養護老人ホーム蓬莱荘に車椅子を寄付する。	100,000
27	静内	静内二十間道路桜並木再生奉仕。樹齢200年を超えるものが多数あり、老木化と病気により数が減っている。地域貢献奉仕を通じて桜並木への関心を喚起し再生事業への参加を促す。	210,000
28	伊達	「伊達カルタ」の製作・配布。伊達の歴史・文化・自然・人物などを詠んだ句を、市民や子供たちから募集しカルタを製作する。出来上がったカルタを学校に配布し、カルタで遊ぶことにより地域を学んでいけるようにする。	180,000
29	室蘭	ぽっぽらん公園に植樹をする。	100,000
30	室蘭東	輪西地区青少年健全育成協議会に対し、餅つき用の臼と杵 大小各1セット寄贈する。当クラブの新たな青少年奉仕、社会奉仕活動の実現を図る。	100,000
31	函館	児童養護施設くみ学園(入居児童53名)のテレビが老朽化したので、大型テレビを寄贈する。	294,840
32	長万部	クラブが保育園に社会奉仕の一環として、平成25年に「幼児避難車」、平成30年に「大型絵本」を寄贈したことが、幼児の町内散歩の安全管理と情操教育の支援につながっている。幼稚園に遊具を設置することで、子育て支援を継続する。	82,620
33	函館セントラル	函館市染川交通公園の花壇整備。函館市からの強い要望を受け、函館市が運営し北海道に1か所しかない交通公園に花壇を設置し、現在ある花壇を整備する。	160,000
34	江差	江差町の「ロータリーの森」で過去に植樹した、豊後梅や丹波栗の補植、間伐や不要木除去を行い、収穫時に多数の町民や子供が来て楽しんでもらえるよう森の整備を行う。	100,000
35	函館五稜郭	社会福祉法人函館一条が運営するワークセンター一条は知的障がい者向け生活訓練、就労移行及び就労継続訓練を行っている。近年の温暖化により作業環境が悪化しているのでエアコン設備を寄贈する。	500,000
36	函館東	タイ王国車椅子寄贈事業。タイでは障がい者に対するインフラ整備は充分とは言えない環境で、障害のため教育を受けることができない多くの子供たちがいる。車椅子を寄贈することで子供たちが教育を受けられ地域コミュニティーに参加しやすい環境づくりに貢献する。	240,000
37	白老	今年度クラブ目標「楽しいロータリーを!」を実施すべく、「江戸の文化を学ぼう落語会」を実施する。笑いが町を元気にし、活気が溢れるようにしたいとの思いを込めて有名落語家を招聘する。	130,000
38	苫小牧	苫小牧市立北光小学校(予定)にサクラなどの樹木を植えることにより学校美化に貢献し、子供たちの情操を育み、緑豊かな街づくりに貢献する。	150,000

39	苫小牧東	西太平洋パラオ、マーシャル島など島々の恵まれない子供たちに学用品をクリスマスプレゼントとして寄贈する。本プロジェクトは友好クラブのゲームサンライズRC・瀧ヶ崎中央RCが中心となり実施している。	100,000
40	苫小牧北	苫小牧北ロータリー杯争奪苫小牧小学生サッカー大会は今年30周年を迎えるが持ち回り優勝カップは塗装の変退色、取っ手の破損もあり修繕で対応してきたが優勝カップを新調する。	100,000
41	国際奉仕・VTT	タイ職業支援事業。就学中に生きていく力、言語や技能を身につけてもらうVTT事業を3年前より実施している。この支援事業をより有効にするために、この学校において理容美容の技能を身につけ、その技能を発揮し、地域の発展に繋げる。	1,500,000
42	地区奨学金・学友	ロータリーの奨学生として相応しい奨学生を海外への派遣し、国際親善及びその専門知識が世界の多くの人の助けとなる様、地区としてサポートする。	1,500,000
43	財団委員会	地区補助金管理セミナーの実施地区内のクラブ会長及び財団担当者(2020-2021対象)に対し、ロータリー財団のしくみ、意義、プログラムに関する知識を深め理解頂くため開催する。	324,500
44	学友委員会	2019年10月26～27日に札幌で開催される日本ロータリー学友会全国大会で「ロータリー環境保護推進セミナー×」を開催する。全員参加型の座談会、併せて札幌駅前の清掃及び緑化活動を実施する。	300,000
45	学友委員会	3年間継続している「学友体験・帰国報告会」の実施。財団学友、米山学友、インターアクト学友、ローターアクト学友、ローテックス、RYLA学友も含めた帰国報告会を実施する。	300,000
46	財団委員会	各グループのIMで地区補助金管理セミナーを実施。会員に財団の仕組みを説明し、意義、補助金に関する知識を深め、各クラブの奉仕活動の内容を紹介し、会員からの寄付金の増額を図る。	300,000
47	臨時費		850,000
48	管理運営費		274,127
合計			12,188,556

今回の地区補助金で、申請クラブにお願い事項があります。申請内容を実行後、2019-2020年度報告書を早めにガバナー事務所に送付いただきたいと思います。

また、12月から2020-2021年度の地区補助金の申請説明が始まりますので、各クラブ次年度の活動計画をご用意お願いいたします。

ポール・ハリス語録 No.5

世界は一つのオーケストラのようなもので、私たち一人ひとり、自ら取るに足りない一部を演奏しているに過ぎません。あなたの楽器や私の楽器の成否は、その音量によって決まるのではなく、周囲の楽器といかに調和しているかによって決まります。得意になって、自分のホルンを高らかに鳴り響かそうとする人は、調和を乱すだけでなく、他の奏者にとって迷惑になるのです。私たちは一人で演奏しているのではなく、大きな全体の中にほんの一部に過ぎないのです。

ロータリーがこの事実を私たちに納得させることができるなら、私たちの生活は周囲の人々の生活と調和するようになるばかりでなく、その生活がより楽で、生きるに値するものになる、と気付くでしょう。

ナショナル・ロータリアン、1912年3月号



「米山月間を顧みて」

米山記念奨学・学友委員会
委員長

青木 貞康
(札幌はまなすRC)

本年度福田ガバナーの強力なバックアップのもと、委員会活動が始まっております。

米山奨学生は4月からの各クラブ受入となっております。今年度もまたぎながら継続した奨学生を入れて21名のスタートとなりました。半年3名、継続1名の奨学生が9月末で終了して現在17名の奨学生が各クラブにお世話になっております。

委員会としても奨学生同士でも一度受け入れ先に入りますと一同で会う機会もなく、昨年より米山学友会主催で交流パーティーを開催し、委員会メンバー、カウンセラーが集まり親交を深めています。

米山月間にあたる10月は地区大会の日程と重なっており、米山記念奨学生も毎年ブースコーナーにおいてコーヒーサービスの場を設けておりましたが、今回は時間と場所の都合で出来ないということになりました。米山奨学生にも大会への参加だけという形になると連絡をしました。米山奨学生の研修旅行の折(今年は静内RCにお世話になりました)にも出番があると張り切っていただけに多少残念な様子でした。ところが大会3日ほど前に地区代表幹事より1300本のペットボトルを用意したと連絡が入り米山奨学生に配布を協力してほしいとのことでした。急遽、配る時間もないことから大会会場に入る直前しかないということで、入り口付近で奨学生に手渡しで配るようお願いしました。配布数が多い為配り切れるか不安でしたが、奨学生

の連携もよく財団学友の奨学生達にも手伝って頂き、全て配り終わることができました。本大会では壇上でも紹介して頂き奨学生も多くのロータリアンに支えられているのだと実感したようで、とても感謝していました。

また、10月10日には、札幌東RCにおいて卓話の機会を頂きました。今回は米山奨学生で韓国出身の札幌モーニングRCにお世話になっております、辛 沅知(シン・ウォンジ)さんをお願いいたしました。彼女は北海道大学大学院理学院自然史科学専攻博士課程で研究を行っております。

交換留学生としての経験もあり日本語も堪能でパワーポイントを駆使しながら自分の日本での体験や研究などをわかりやすく説明しておりました。カウンセラーも元米山奨学生でロータリアンになった韓国出身の鄭子龍さんということで安心して活動ができる状況のようです。

さて、札幌東RCは昨年度において全国個人平均寄付額15,828円、2510地区14,268円の中、ダントツの93,463円で1位です。そのような中でもあと一人年間1,000円の増額をお願いいたしました。2018年度2510地区は年間寄付額18位でした。おかげさまで次年度は一人奨学生受入枠が増え18名となりました。

今後、年間20名の受入目標の為(確実に学友が増えることによりロータリアンになる奨学生が増えてきています。)にも皆様の一層のご協力をお願いいたします。



地区大会会場で飲料水の配布活動



地区大会を終えて

地区大会実行委員会
委員長

武石 忠俊
(千歳RC)

この度の地区大会のホストクラブであります千歳ロータリークラブの地区大会実行委員会を代表して、皆様に感謝と御礼のご挨拶を申し上げます。

去る10月4日(金)・5日(土)の2日間にわたり開催いたしました地区大会は、福田武男ガバナーのもと会員皆様のご協力により盛大に行われました。ご登録並びに何かとご多用の中、ご出席を頂き誠に有難うございました。特に、本田博己RI会長代理ご夫妻には、群馬県よりご来道頂き、ご挨拶や貴重なご講話を賜り心からのお礼と感謝を申し上げます。

1日目の4日は、13時30分より、ANAクラウンプラザホテル千歳において、会長・幹事会、地区指導者育成セミナーを行いました。2019-2020年度RI研修リーダー山崎淳一様より「奉仕の心を学び、伝え、実践しよう」のテーマで基調講演を頂き、引き続き、ロータリー放談「ロータリーを語る」は大変充実したセミナーになりました。

18時より開催致しました、RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会にも多くの方々にご参加して頂き有意義な時間を過ごすことができました。

2日目、9時より北ガス文化ホールにて本会議を開催しました。本田博己RI会長代理から、「奉仕の理念」とロータリーの未来について講演され、ロー

タリーの神髄について共感をうけました。

平行プログラムのスパウスではサケのふるさと千歳水族館、キリンビール北海道千歳工場の見学をして頂き、また、青少年プログラムは、もりもどでの和菓子作り体験し、更に会場に戻りRLI形式でSDGsセミナーを行いました。

13時30分より、ANAクラウンプラザホテル千歳において記念懇親会が行われました。千歳を知って頂くために「地産地消」の食事を心掛け、アトラクションは、民謡「翼」により三味線、民謡が披露され雰囲気盛り上げて頂きました。また、先に行われました地区大会記念パークゴルフ大会及び記念ゴルフ大会の成績発表と表彰式を行い、大きな拍手に包まれました。

お陰様で、記念パークゴルフ大会から始まり3日間にわたり開催された地区大会も順調にスケジュールを進行する事が出来き、地区内外各クラブから多数のご参加を賜り盛会裡に終了致しました。

地区大会の開催にあたり、何かと不行き届きの点が多々あったとは思いますが、どうぞその節は、ロータリーアンの友情と寛容の精神でお許し頂きたくお願い申し上げます。

改めて、会員の皆様、関係各位の皆様には感謝と御礼を申し上げご挨拶とさせていただきます。

(訂正とお詫び)

地区大会にお配りしました小冊子に誤りがありました。

小冊子P37 ベネファクター表彰者5名様がポール・ハリス・フェロー表彰欄に記載されておりました。ここに訂正してお詫び申し上げます。

ロータリー財団表彰 ベネファクター

岩見沢ロータリークラブ	小林弘明 様	岩見沢ロータリークラブ	三嶋 顕 様
岩見沢ロータリークラブ	鎌田 誠 様	岩見沢ロータリークラブ	竹内 守 様
岩見沢ロータリークラブ	江本勝典 様		

写真で見る



地区大会



ガバナー公式訪問報告

紙面の都合ならびに原稿の到着日により掲載が前後する場合がございますので、ご了承ください。

札幌北ロータリークラブ

9/2日

9月2日(月)、福田武男ガバナー、第4グループ宮部光幸ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。

10時からの会長・幹事懇談会では、草間孝廣会長からクラブの特徴や現状について説明し、福田ガバナーからは、ぜひ支援活動には継続性を持って地域貢献をしてほしいとのご指導がありました。11時からのクラブ協議会では、各委員長より活動計画と事業実施状況などについてご報告し、福田ガバナーからはしっかりとした計画に基づいての活動がなされていることや、活動計画書の巻頭に「ロータリーの目的」が掲載されていることについて、この目的にこそロータリーを一言で説明できる文言があるので、良く把握され大事にしてほしい、と、の講評を頂きました。

その後の例会では福田ガバナーから、会員増強の望ましい在り方として「ロータリーの目的」の冒頭にある「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」がすべてであり、この実践と反省を繰り返すことで相手も自分も幸福になる、そしてこれを社会に広め、一緒にロータリー運動に参画しよう、との呼びかけが会員増強に繋がるものと確信しているとの貴重なお話を頂戴しました。

例会後には会員と共に笑顔で記念写真を撮影して和やかな中、ガバナー公式訪問を終えることができました。福田ガバナー、宮部ガバナー補佐、そして会員の皆様には心から感謝申し上げます。



◇会長・幹事懇談会



◇笑顔で和やかな雰囲気での記念撮影

札幌ライラックロータリークラブ 9/6金

9月6日(金) 福田武男ガバナー、第5グループ田澤泰明ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問を開催させて頂きました。

16時30分から会長・幹事懇談会を開催し、クラブの活動状況と今後の活動計画を報告しました。17時30分からクラブ協議会が行われ、私たち札幌ライラックRCの特徴でもあります国際色豊かな(中国3名、韓国1名、イタリア1名、日本15名)クラブ運営の在り方や学友を対象とした会員増強などのご提案を頂きました。

18時30分からの例会ではご持参頂いたロータリー100周年記念の鐘を点鐘し、福田ガバナーより、ロータリークラブの基本理念や奉仕活動の大切さ等について卓話をして頂き、創立して間もない私たちクラブにとって大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。また、当日は新しくロータリアンとなりました新会員に福田ガバナーよりロータリーバッジを着けて頂き、新会員にとっては大変素晴らしい思い出になったと思います。

福田ガバナー、田澤ガバナー補佐にはご多用の中、ご来訪頂きましたことに感謝申し上げ、本年度のご報告とさせて頂きます。ありがとうございました。



三石ロータリークラブ

9/9日

9月9日(月)、福田武男ガバナー、第8グループ亀田浄ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問を開催しました。

16時、会長・幹事懇談会を開催し、三石RC志田会長からクラブ方針はじめ、今年度の事業について説明が行われました。福田ガバナーからクラブ活動に関して様々な質問を受け、あわせて福田ガバナーの方針や国際ロータリーの方針や活動と、地区方針などの説明を頂きました。

17時からクラブ協議会を行い、各委員長より活動方針等の説明を行い、福田ガバナーよりアドバイスを頂きました。

18時からは福田ガバナー、亀田ガバナー補佐、三石RC会員との合同例会を開催しました。例会では、会長・幹事懇談会の報告事項とスケジュールなどの確認が行われました。例会後の懇親会には、福田ガバナー



の奥様、亀田ガバナー補佐の奥様にもご出席を頂き、和やかな中で交流を深め、有意義なガバナー公式訪問でありました。

様似ロータリークラブ

9/10(木)

福田武男ガバナー御夫妻、第8グループ亀田 浄ガバナー補佐が来訪された9月10日は、とても穏やかで、日差しの美しい日でした。福田ガバナーにお聞きすると、裕子夫人はこちらの方にはあまり来られたことがない・・・との事で、それなら堅苦しい決まりきった話は抜きにして、「様似を案内しよう!」と、急遽、予定変更となった次第です。美しい日にも誘われつつ、半ば強制的に出立しました。アポイ山荘が例会場でしたので、まずは、すぐ近くの「アポイ岳ジオパークビジターセンター」を訪れました。たまたま、私(小林栄一様似RC会長)の妻が同センターの公認ガイドで当番をしていましたので、彼女に解説してもらいながら、センター内を案内させて頂きました。

「ここアポイ岳は、日高山脈の南端に位置しています。日高山脈は北米プレートとユーラシアプレートの衝突により、1300万年前に形成されました。アポイ岳は、地下深くにあるマントルを構成している“かんらん岩”によって、ほぼ成り立っています。その“かんらん岩”は高熱と水分の影響をほとんど受けない(専門家は腐っていない=新鮮)との表現でした。その新鮮な“かんらん岩”が地上に出てきた状態は世界でも稀有な山なのです。その“かんらん岩”から作られた特殊な土壌と冷涼な気候によって、810メートルという低い山ながら、本州の2~3000メートル級の山の高山植物が育っています。固有種は20種、全体では約80種があり、そのため、この高山植物群落は、1952年に国の特別天然記念物に指定されました。」とアポイ岳成り立ちと歴史とアイヌ民族の話を多少聞き、その後、私たち一行はビジターセンターを後にし、観音山展望台を目指しました。

観音山展望台は、様似の美しい景色を一望できる絶景スポットです。塩釜トンネルとローソク岩、親子岩とソビラ岩、エンム岬等がほぼ一直線に並んだ奇岩群は、約1700万年前プレート運動により割れ目ができ、その割れ目にマグマが上昇(貫入)し、冷えて固まってできた岩石(ひん岩)が、これら奇岩群の元となっています。

クラブ協議会、例会の時間が差し迫っていましたので、町内の案内はこの一か所だけとなりましたが、もし、ガバナーご夫妻に楽しんでいただけたなら、私たちにとって望外の喜びです。いかがだったでしょうか?

例会の中では、福田ガバナーは、「ロータリーは“運動体”であるべきだ。」と強調されました。私見を交えて解釈するなら、「ロータリーはただ単に理念・理論を学ぶ場ではなく、それを行動に移してこそ、価値があると言える。しかし、実践だけではいけない。実践したことを検証し、理念・理論を、さらに深めていかなければならない。」この力強いお言葉と共に、無事、ガバナー公式訪問を終了いたしました。福田ガバナーご夫妻、亀田ガバナー補佐、本当にありがとうございました。

江別ロータリークラブ

9/12(木)

9月12日(木)、福田武男ガバナー、第3グループ伊澤珠樹ガバナー補佐、坂口堅一ガバナー補佐幹事がお越しになられ、公式訪問が開催されました。10時から会長・幹事懇談会を行い、電車であられた福田ガバナーに江別に着くまでの感想をお聞きしながら和やかな雰囲気の中で始まり、地区目標を熱心にお話を頂きました。11時から役員・理事の他に新入会員5名を加えクラブ協議会を行い、各委員会から活動計画を発表し、新入会員は今後の抱負を述べたのち、福田ガバナーから講評を頂きました。中でも、「ロータリーの目的こそがまさに根幹である」「四つのテスト」の「4、みんなのためになるか、どうか」にロータリーの全てが集約されているなど、改めて奉仕の理念を考えさせて頂く機会になりました。

その後、金色に輝く「100周年記念ロータリーの鐘」の美しい音色で例会が開会され、当日のロータリーソングでは「江別ロータリークラブの歌」を斉唱しました。クラブ創始者であるチャーターメンバーが作った歌に大変珍しさを感じて頂き、これからも大切に歌い続けてほしいとのコメントがありました。また、会員増強に対してガバナーのお考えを述べられ、その中で様々な助言や激励を頂きとても有意義な例会となりました。例会終了後には福田ガバナーを囲み記念写真を撮影し公式訪問が終了いたしました。お忙しい中ご訪問頂き心より感謝を申し上げます。



小樽南ロータリークラブ

9/13金

9月13日(金)、福田武男ガバナーの公式訪問がありました。午前中には会長・幹事懇談会及びクラブ協議会が開催され、福田ガバナーからは、他クラブ等の情報提供を頂き、また多くのご指摘も頂きました。

昼食後には、福田ガバナーから講評を頂きました。その中で、「ロータリー活動をしていく中で一番大切なのは、ロータリーの理念である。他人を思いやり、他人に尽くすことに尽きる。このためには価値のある日常生活を送ることである。」というお話を頂きました。

また、当クラブの会報や青少年奉仕活動等についてもご評価を頂き、継続するように励まして頂きました。当クラブ会員は、改めてロータリアンとしての理念や行動を学ぶことができ、今後の活動の励みになりました。ご訪問ありがとうございました。



札幌西ロータリークラブ

9/24火

9月24日(火)札幌プリンスホテル国際館パミールにて、福田武男ガバナー、第4グループ宮部光幸ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。

10時からの会長・幹事懇談会では、当クラブの現況をお話し、他クラブの奉仕活動や会員増強の状況など貴重なお話を聞くことができ、大変有意義な懇談会となりました。

11時からのクラブアッセンブリーでは各委員長より、今年度活動計画と現在までの活動報告致しました。福田ガバナーの講評にて各委員長からの具体的な活動計画・活動報告を聞かせてもらえ、当クラブの奉仕活動がよく理解出来たとお褒めの言葉を頂きました。

12時30分からのガバナー公式訪問例会では、福田ガバナーがご持参されたロータリークラブ100周年の金色の鐘を河口義徳会長が点鐘し、「札幌西ロータリークラブ讃歌」を福田ガバナー、宮部ガバナー補佐にも一緒に歌って頂き、例会が開始致しました。

例会では福田ガバナーより、貴重なお話しを伺い、来年の60周年までに会員60名を目標にして会員増強をしてはどうか、その一つとして衛星クラブを立ち上げてはどうかのご提案も頂きました。今後のクラブ運営に役立てたいと存じます。

福田ガバナー、宮部ガバナー補佐ご多忙中、ガバナー公式訪問でご来訪頂き、会員一同感謝申し上げます。



札幌東ロータリークラブ

9/26木

9月26日(木)福田武男ガバナー、第5グループ田澤泰明ガバナー補佐をお迎えして、今年度ガバナー公式訪問例会を開催することができました。

10時から会長・幹事懇談会が行われ、当クラブより会長、幹事、会長エレクト、副幹事が同席し、クラブの概況と特徴、そして、今年度の活動状況などを報告し、和やかな雰囲気の中で懇談が行われました。

その席で当クラブが9月5日に開催したクラブ奉仕フォーラムで「例会出席の重要性」と「メイクアップ」についての検討の場がありました。

塚原房樹パストガバナーより「例会のあるべき姿」というテーマに沿った卓話から展開する進行内容は、『日々の問題を話し合う場をいつも用意することができる貴クラブ』



の意識の高さ』と福田ガバナー、田澤ガバナー補佐より評価を頂きました。

11時からのクラブ協議会では、各委員長が今年度の活動計画書にもとに進捗状況などを発表し、福田ガバナーより温かい評価を頂戴いたしました。

その後、12時30分より例会が開催され、今年度のRIのテーマ、地区の目標の解説やRIの現状など多岐にわたって卓話を頂き、今後のクラブ運営や奉仕活動に向け、有意義な時間を過ごすことができました。

ご多忙の中、当クラブをご訪問頂き心より感謝申し上げます。これからもご壮健でご活躍されますことをご祈念申し上げ、公式訪問の御礼と報告とさせていただきます。ありがとうございました。

岩見沢東ロータリークラブ

10/8 ㊦

10月8日(火)、岩見沢平安閣において、福田武男ガバナーをお迎えし、当クラブの会員であります第3グループ伊澤珠樹ガバナー補佐、坂口堅一ガバナー補佐幹事の同席の上、ガバナー公式訪問を開催致しました。

会長・幹事懇談会では、会長、幹事の他、会長エレクト、副会長も交え、当クラブの活動内容、現在及び将来の課題等を説明させて頂きました。

引き続いてクラブ協議会では、各委員長がより詳細な活動内容を報告致しました。福田ガバナーからは、当クラブが長年継続的に行っています奉仕活動としての児童養護施設光が丘学園での「そばの種まき・収穫」、「少年少女サッカー大会」等を評価して頂きました。

また、会員増強につきましては、若い方々は仲間を複数で入会する事例が多いことと、そのアプローチの方法等のアドバイスを頂きました。

福田ガバナーからのご助言を肝に命じ、今後、当クラブの発展に努めて参りたいと思います。大変お忙しい中ご訪問頂いた福田ガバナーには感謝申し上げます。ありがとうございました。



白老ロータリークラブ

10/8 ㊦

10月8日(火)、福田武男ガバナーは地区大会終了後最初の訪問として、第47番目に白老RCを訪問してくださいました。早朝、肌寒い中、JR白老駅着8時32分でご到着され、第12グループ橘 勇治ガバナー補佐とご一緒に山本浩平会長、鈴木一弘会長エレクト共々お出迎えし、まずは戸田安彦白老町長への表敬訪問を頂きました。

クラブ事務所において、会長・幹事懇談会、クラブ協議会を通して、多くのご指導、ご助言を頂き大変参考になりました。中でも2020年4月24日開設の民族共生象徴空間(ウポポイ)と国立アイヌ民族博物館には、大変興味を示してくださいと、創立40周年記念事業として、白老町に対し、開設される施設周辺に整備する石製のベンチの寄贈を広報し、ガバナー月信、ロータリーの友への寄稿をご助言して下さいました。そして、当クラブの開催する公開例会に対してもお褒めの言葉を頂きました。

また、例会でのガバナーのご講話では、「新会員合宿セミナー」への思いを語られ、当クラブ対象者への呼びかけを重ねて行っているところです。2019年規定審議会が大きく変わった出席、メイクアップについてもわかりやすくご指導頂きました。

お食事は、当クラブの特徴である美味しい例会で、当地自慢の白老牛のすき焼きを召しあがって頂きました。会員一同有意義な時間を過ごさせて頂きありがとうございました。



札幌真駒内ロータリークラブ

10/9 ㊦

10月9日(水)、福田武男ガバナー、第5グループ田澤泰明ガバナー補佐を迎えて、当クラブとしては久しぶりに地区大会後の公式訪問となりました。

朝はあいにくの雨模様でしたが、予定通りガバナーとガバナー補佐をホテルライフオート札幌にお迎えす

る事ができました。福田ガバナーには地区大会を終え、前日には夜間例会を含めた地方2クラブを公式訪問されていたということでガバナーはお疲れではないかと心配しましたが、和やかな雰囲気では会長・幹事懇談会が行われました。その後開催されたクラブ協議会でも各委員会の発表に熱心に耳を傾けて下さり、時間いっぱい講評を頂きました。

例会は同ホテルの17階に場所を移して行われました時には、晴れ間がのぞき紅葉の始まった中島公園を見下ろすことができました。卓話では「会員一人ひとりが改めてロータリーの基本に立ち返り会員増強することの大切さ」についてお話し頂きました。福田ガバナー、田澤ガバナー補佐におかれましてはお忙しい中、当クラブを訪問くださりまして深く感謝申し上げます。残り1か月余りの公式訪問が無事に終了いたしますようお祈り申し上げます。



札幌西北ロータリークラブ 10/10 ㊦

10月10日(木)、福田武男ガバナー、第4グループ宮部光幸ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。

10時からの会長、幹事、副幹事との会長・幹事懇談会では、当クラブが取り組む活発な親睦活動や同好会活動、三角山清掃登山・四阿整備や大通公園植栽など、地域に根ざした活動について報告させて頂きました。また、今年度の会長方針に基づく新たな奉仕活動や会員増強についてもお話させて頂きました。

11時からのクラブ協議会では、各委員長の活動方針を報告させて頂き、例会におきましては、福田ガバナーより、「衛星クラブ」についてのお考えや会員増強にあたっては、一人ひとりがロータリーの目的を理解や解釈をし、その上でロータリーの魅力を伝えていく必要があるということをお話頂いたことで、改めて「ロータリーの目的」や「奉仕の理念」というものを深く理解する貴重な時間となりました。

最後に福田ガバナー、宮部ガバナー補佐を囲みメンバー全員で記念写真を撮影し、公式訪問を終了しました。



札幌清田ロータリークラブ 10/15 ㊦

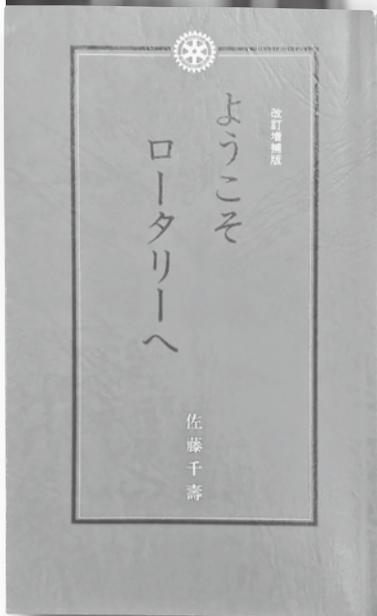
10月15日(火)、プレミアホテルTSUBAKIに福田武男ガバナー、第5グループ田澤泰明ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

10時より会長、幹事、会長エレクトを含む5名で会長・幹事懇談会を行い、当クラブの現況と地域に密着した活動の歴史や今後における活動方針をお伝えしました。福田ガバナーからは、財源不足を補うヒントをご助言頂きました。11時からのクラブアッセンブリーは、会員9名が参加し、クラブ喫緊の課題であります会員増強に関して、急成長している他団体の取り組みについてディスカッションする場面があり、組織の根幹である倫理観を明確にし、常に意識する工夫が必要との意見が会員よりあがりました。

その後、例会のガバナー卓話では、『若者が何故ロータリーに入らないか』について言及され、ロータリアン自身がロータリーの魅力をわからず、伝えられていないことを示唆し、奉仕の理念を学び、家庭や社会へ広げることの大切さを強調されました。福田ガバナーご自身のロータリーへの熱い思い、お人柄が存分に伝わり、クラブに春風がそよぐような公式訪問となりました。



『ロータリーの本』 No.5



佐藤千壽 著

現在、文献資料室の蔵書は108冊となっています。この数を多いと考えるか少ないと考えるかの判断が分かりますが、増補版も一つと数えていますので、タイトル数は少し減ります。

また、いわゆる書籍コードがあり、書店に流通しているという書籍はあまりなく、全体の1割弱くらいだと思います。残りは自費出版といわれる地区やクラブで発刊されたものが多いです。

書籍リストについては毎年各クラブに発送しますが、そのリストの著者を眺めると複数の著作をお持ちの方が数名いらっしゃいます。こういう方々が日本のロータリークラブ理論の礎を築いたということになるかと思います。

今回はその中の一人の佐藤千壽氏の著書「ようこそロータリーへ」を紹介します。この本も出版社から発行されている本ではありません。発行の経緯についての解説をそのまま引用すると「1974年国際

ロータリー第358地区年次大会に際し、参加ロータリアン各位に記念品として贈呈せされ、その後著者佐藤千壽ガバナーより、大会のホストとして奉仕した東京江北RCに対し、感謝の意をもって版權を寄贈されたものであります」とあります。

形式は新会員に対する手引きという形ですが、クラブ奉仕部門に関する諸問題について大変面白く解説されており、新会員はもとより広く日本のロータリアンの中で好評となり、発行部数は5万部にまで及んだとのこと。本書はその後、規定審議会での若干の改正があったため、訂正加筆されたものが1983年に改定増補版として発行されたものです。全部で75ページと大変面白く読みやすい本なので、是非お読み頂きたい一冊です。

私が、特に興味深く読んだのが女性会員問題です。1983年というと今から少し前、という印象ですがその時点ではまだ女性会員はロータリーに入会できなかったそうで、その議論についてそれなりの紙幅をとっての言及があります。女性会員の入会が認められるようになったのは、1989年ということで、平成になってからということになります。令和の時代となった今、隔世の感のある話です。この本もロータリー文庫に所蔵されており、ネット経由で閲覧可能となっていますので、是非ご一読ください。

地区文献資料室

委員長 石川 信行(札幌手稲RC)

2019-2020年度 米山奨学生ご紹介

米山記念奨学会・学友委員会

委員長 **青木貞康** (札幌はまなすRC)



留学生の生活

グエン・ティ・ホアン・ジャン

(ベトナム)

北海道文教大学国際言語学科 (千歳 RC)

私は、日本に来てから今年で5年目になりました。今改めて、私が日本に留学していることが不思議に感じます。ベトナムにいた時は、日本へ行くのを一切考えたことがなかったのですが、2013年にベトナムでよさこいチームに参加し、2014年に初めて日本に来て、東京にあるよさこい祭りで演舞することができたお陰で、日本に対してとても興味を抱くようになりました。ベトナムに戻った後は、日本語を真剣に勉強し始めました。そして、幸いなことに、北海道・東川町から奨学金をいただき、2015年1月から日本へ留学することができました。

1年3ヶ月、旭川福祉専門学校日本語学科にお世話になりました。旭川福祉専門学校では、日本語だけではなく、日本舞踊や茶道など色々な日本の伝統的な文化にも触れることができ、毎日、そういった体験や課外活動に参加することが私の楽しみになりました。そのお陰で、日本語はどんどん上達し、東川町民の方々と交流する機会も増えました。さらに、旭川福祉専門学校では、タイやインドネシアなどの様々な国からきた留学生たちとの交流もできました。旭川福祉専門学校から卒業後、北海道文教大学に入学しました。これ以上、両親に負担をかけるわけにはいかないと思い、大学の授業料や生活費などすべて自

分で負担しました。1年生のときは、奨学金がなく、アルバイトをしながら、節約して生活しました。とても大変でしたが、学校での授業やサークルで楽しいことや今まで体験したことないこともたくさんありました。大学に入ったあと、よさこいサークルに入り、学科や性別、国籍は関係なく、毎日日本人の学生たちと一緒に練習し、大会に出たりして、とても充実した一年でした。そして、学校と先輩の紹介で、レンタカー会社でのアルバイトも始めました。アルバイトとサークルのお陰で、日本人の友達が増え、日本社会でのマナーや敬語の使い方なども身に付けることが出来ました。

4年生になる前に、学校に米山奨学金に推薦され、嬉しいことに米山奨学生に選ばれました。奨学生になって、ロータリークラブの事業の理解やロータリアンの方々との交流などをとても楽しみにしています。現在、毎回クラブの例会に出るたび、ロータリアンの方々にベトナムのことについてたくさん聞かれて、どなたも国際交流に対して情熱を持っているようで、大変嬉しく感じています。将来は、母国であるベトナムと日本との関係をより深めていきたいです。日本、もしくは、北海道で就職し、在日ベトナム人に日本での生活支援を、そして、ベトナムに投資したい日本人の方々にもサポートしたいと考えています。



前列左が
グエンさん

2019-2020年度 国際ロータリー第2510地区

インターアクト研修旅行記



地区インターアクト委員会

委員長 **松永英樹**

(室蘭東RC)

8月4日～7日の3泊4日で台湾へインターアクト研修旅行に行ってきました。

この海外研修は「ボランティアと国際理解」を活動の両輪とするインターアクトクラブにとって重要な年間活動です。インターアクター18名、顧問5名、地区委員2名の25名が参加し、8月4日14時に新千歳国際空港を出発しました。

8月4日(日) (1日目)

台湾時間19時15分に台北桃園空港に到着し、入国審査を終えて最初の訪問地である士林夜市へ行き、ほとんどの生徒が初海外ということで少し緊張していましたが、屋台で売っている大きなチキンにかぶりつき、名物のマンゴーアイスを食べるなど楽しく研修をスタートさせました。

8月5日(月) (2日目)

この日は事前に予定していた地元高校生との交流会が出発直前で中止となり、地元ロータリアンに急遽、用意して頂いた人形劇の見学と体験をしました。人形劇は台湾では人気のある娯楽で1970年代にはテレビの視聴率97%と台湾文化の大きなファクターです。人形劇を観て、歴史を聞いて、人形を動かす異国の文化を体験しました。その後、関渡宮という道教の寺院や淡水地区を見学し台湾文化に触れ、体験する一日になりました。

8月6日(火) (3日目)

6日は「台湾自閉症総会」で交流会に参加し、その後総統府、故宮博物館、九份の見学と盛りだくさんの日程でした。6回目となった台湾自閉症総会との交流はあちらの会員たちも交流を楽しみに待っていてダンスや折り紙で交流しました。インターアクターが柔軟に台湾の人々と交流する姿を見て、若い対応力に改めて感心させられました。

夜は参加者みんなが楽しみにしていた九份の見

学です。映画「千と千尋の神隠し」のモデルとなった地域で人気があり、特に訪れた日没時は幻想的な夜景を見ようと身動きも不自由になるほどの混雑でしたが美しい風景や異国情緒に触れることができ、生徒たちは大満足したようでした。

8月7日(水) (4日目)

最終日は早朝にホテルを発ち、15時に無事、新千歳国際空港に到着しました。最後の解散式まで生徒たちは自主的に行動し、得るものの多い研修旅行になったと思います。

私にとっては初めての経験で台北の街は魅力的であり、地元のロータリアンと交流ができたことも大変有意義でした。何より4日間、高校生たちと接し、生徒たちが積極的に異文化と接しようとする姿がとても印象的でした。外国の街並みを見て歩き、地元の人と触れ合い、台湾の歴史や文化に触れたことはインターアクターにとって貴重な経験だったようです。帰国後アンケートと感想文を提出してもらいましたが「異文化に触れ、成長することができた」「台湾の人の優しさや親切に触れることができた」「もっと外国語を勉強したくなった」などいろいろな意見が寄せられました。

最後に感じたことはこの海外研修が多くの方のご尽力、ご協力のもとにできたということです。旅行前から熱心に打合せし、旅行中は朝から晩まで生徒を引率してくださった顧問の先生、地元の窓口として様々コーディネイトに奔走頂いた台湾・土城RCの洪俊傑(コウ シュンケツ)氏、各方面と綿密に打合せし今回の海外研修のスケジュールを作って頂いた齋藤貴之前地区インターアクト委員長、その他多くの方にご協力を頂きました。感謝申し上げます。研修旅行の報告とさせていただきます。



関渡宮前



自閉症総会会場での交流

2019-2020年タイ・カンボジア検証ツアーご案内

2019-2020国際奉仕・VTT委員会

委員長 谷口 正樹

(滝川IRC)

今年度、「国際奉仕・VTT事業の検証ツアー」の日程が決定しましたのでご案内いたします。
日程表およびツアー申込書は各クラブへ郵送いたします。クラブを通して申し込みください。

【2019-2020 2510地区国際奉仕・VTT委員会 タイ・カンボジア検証ツアー ご日程表】

旅行期間：2020年1月29日(水)～2月3日(月) 6日間

設定人数：25名様 予定

二次締切：11月30日(土)迄にお申し込み願います。

日数	日付	都市名	時間	交通	スケジュール	朝	昼	夕
1	1月29日 (水)	新千歳空港 発 バンコク 着 バンコク 発 ウドンタニ 着	10:00 15:50 19:15 20:20	TG671 TG2008 専用車	タイ航空にてバンコクへ タイ航空にてウドンタニへ 空港よりホテルへ ウドンタニ 泊		機内	各自
2	1月30日 (木)			専用車	ブンカン県 グローバルグラント「水と衛生」事業 オープニングセレモニーと事業開始状況検証 ノンカイ県 教育事業(図書館)検証 奨学金事業 贈呈・訪問 ※フレンドシップナイト ノンカイ 泊	○	○	○
3	1月31日 (金)	ウドンタニ 発 バンコク 着 バンコク 発 プノンペン 着	12:55 14:00 18:20 19:35	TG2005 TG584 専用車	ノンカイ県職業訓練校 地区補助金職業訓練事業 (理美容事業)検証 タイ航空にてバンコクへ タイ航空にてカンボジアのプノンペンへ ホテルへ プノンペン 泊	○	各自	○
4	2月1日 (土)			専用車	ココン県 学校環境改善と緑化事業 プノンペン周辺事業 実施候補地視察 ココン 泊	○	○	○
5	2月2日 (日)	プノンペン 発 バンコク 着 バンコク 発	20:55 22:00 23:55	専用車 TG585 TG670	出発まで自由行動 ホテルより、プノンペン空港へ タイ航空にてバンコクへ タイ航空にて千歳へ 機内 泊	○	○	○
6	2月3日 (月)	新千歳空港 着	08:20				機内	

※上記は9月10日現在の予定です。航空会社・検証先の都合で変更になる場合もございますのでご了承下さい。

- 【予定費用】 お一人様 245,000円 + 20,000円(空港諸税・燃油費用)
 【費用内容】 航空費用：タイ航空：千歳-バンコク(往復) エコノミークラス
 タイ航空：バンコク-ウドンタニ(往復)、バンコク-プノンペン(往復)
 宿泊費用：標準クラス 1室1名又は、2名利用(現地施設の事情により異なりますのでご了承下さい)
 現地費用：滞在中の食事(朝3回、昼3回、夜4回)、バス、現地ガイド費用
 空港諸税：千歳空港、バンコク空港、プノンペン空港、燃油費用、出国税
 【その他】 カンボジアビザ取得費用、活動諸経費、お飲み物代は別途のご案内とさせていただきます。
 【旅行解除】 ご出発の41日前迄の解約につきましては費用はかかりません。
 ご出発の40日前～15日前迄は旅行代金の30%、14日前～3日前迄50%、前日・当日は全額
 【旅行企画】 2510地区国際奉仕・VTT委員会
 【旅行手配】 (株)産経海外旅行
 札幌市中央区北1条西7丁目 TEL：011-271-5388 FAX：011-271-5621 斉藤、矢田目

2020年 ハワイ・ホノルル国際大会のご案内【続報】

地区RI国際大会推進委員会
委員長

国立金助
(函館RC・PG)

2019-2020年度 第111回 国際ロータリー年次大会が、2020年6月6日(土)から6月10日(水)までの5日間アメリカ合衆国ハワイ州のホノルル市にて盛大に開催されます。

昔も今も日本人の憧れの地、そして癒しのリゾート地「ハワイ」での国際大会に参加してみませんか。

毎年開催される北海道ナイトは、憧れの人気ホテル「ハレクラニ」の「ハウテラス&ラナイ」をご用意しております。広いラナイを併設し、ダイヤモンドヘッドと太平洋の美しい眺めをご堪能いただけるオーシャンビューの会場にて、第2510地区の会員の皆様方と懇親を深めることができれば幸いです。

また余興として「ハワイアンバンド」と「フラ」をご用意する予定です。お楽しみ下さい。

今回ご用意します行程は、ハワイのホノルルを満喫できるようにホノルル市内滞在型とし、国際大会に関わる開会本会議や分科会の出席や友愛の家の見学、オプションツアーの参加やショッピングが堪能できるよう設定する予定です。

ロータリークラブ会員やご家族をお誘いあわせの上、多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

なおご旅行内容の詳細(旅行代金やホテルおよび航空会社)については、ガバナー月信12月号にて改めてご案内致します。



ワイキキビーチおよびダイヤモンドヘッド【イメージ】



ハレクラニ ハウテラス&ラナイ【イメージ】

- 大会登録： 国際大会の登録に関しては、各自にてご登録をお願い致します
登録方法は、「ロータリー国際大会」のホームページをご参照下さい
<https://www.riconvention.org/ja/honolulu>
国際大会登録料(アメリカ\$税金込み) ※早期登録で割引料金を！
例 会員 \$450(12月15日迄)・\$550(3月31日迄)・\$650(4月1日以降)
- 北海道ナイト：
会場はハレクラニの宴会場「ハウテラス&ラナイ」をご用意しております
なお余興として「ハワイアンバンド」と「フラ」をご用意する予定です。ご期待下さい！お楽しみに。
参加料につきましては、ガバナー月信12月号にて詳細をご案内致します
- 旅行参加申し込み期限：
令和元年12月20日(金)

プラン1

- 期日： 令和2年6月5日(金)～6月10日(水)の6日間
- 行先： アメリカ合衆国(ハワイ・ホノルル)
- スケジュール表：

	月日曜	発着地	現地時間	交通機関	行程	食事
1	6月5日 (金)	成田空港発 羽田空港発 新千歳空港発 ホノルル空港着	夜 午前 午後	航空機 一日 専用車	≪国際線は成田または羽田または新千歳の いずれかの空港からの出発になります≫ ≪国際線が新千歳空港以外からの出発の場合 新千歳または函館からの国内線をご案内いたします≫ 出国手続き後、空路、ホノルルへ ー 日 ー 付 ー 変 ー 更 ー 線 ー 通 ー 過 ー 入国審査および手荷物税関検査 【ホノルル国際大会】 国際大会登録(ハワイコンベンションセンター) 大会登録終了後、ホノルル市内ホテルへ 【ホノルル泊】	夕：機内 朝：機内 昼：各自 夕：各自
2	6月6日 (土)	ホノルル市内滞在	終日		終日フリータイム ≪オプションツアーやショッピングにてお楽しみ下さい≫ 【ホノルル泊】	朝：各自 昼：各自 夕：各自
3	6月7日 (日)	ホノルル市内滞在	19:00頃	各自	<日本人親善朝食会(予定):希望者のみ> 【ホノルル国際大会】 ≪開会本会議≫(ハワイコンベンションセンター) ※午前(9:30～12:00)開催または午後(15:00～17:30)開催 ≪友愛の家≫(ハワイコンベンションセンター) ≪北海道ナイト≫(ハレクラニ:ハウテラス&ラナイ) 【ホノルル泊】	朝：各自 昼：各自 夕：別途
4	6月8日 (月)	ホノルル市内滞在	終日		終日フリータイム ≪分科会・オプションツアーやショッピングにてお楽しみ下さい≫ 【ホノルル泊】	朝：各自 昼：各自 夕：各自
5	6月9日 (火)	ホノルル空港発	午後	専用車 航空機 一日	一路、ホノルル空港へ 思い出を胸に空路、成田または羽田または新千歳空港へ ー 日 ー 付 ー 変 ー 更 ー 線 ー 通 ー 過 ー 【機内泊】	朝：各自 昼：機内
6	6月10日 (水)	成田空港着 羽田空港着 新千歳空港着	午後		≪国際線は成田または羽田または新千歳の いずれかの空港に到着となります≫ 帰国手続き、荷物を受け取り、解散 ≪国際線が新千歳空港以外に到着の場合 新千歳または函館までの国内線をご案内いたします≫	昼：機内 夕：各自

※発着時間及び交通機関は変更になる場合がございます

- ◇ 旅行代金 : ガバナー月信12月号にて詳細をご案内致します
 (例 宿泊ホテル:スタンダードクラスの場合 おひとり様 228,000円～258,000円)
 (例 宿泊ホテル:スーパーアクラスの場合 おひとり様 278,000円～308,000円)
- ◇ 利用予定ホテル : ガバナー月信12月号にて詳細をご案内致します
 (スタンダードクラス : ホテル ラクロイ ワイキキ または同等クラス ※部屋指定不可)
 (スーパーアクラス : シェラトン・プリンセス・カイウラニ または同等クラス ※部屋指定不可)
- ◇ 利用予定航空会社 : 日本航空 または 全日空 または ハワイアン航空 のいずれかのエコノミークラス
- ◇ 募集人員 : 20名様【最少催行人員15名様】
- ◇ 添乗員 : 全行程1名同行いたします ※ご参加者数により変更が生じる場合がございます
- ◇ 食事条件 : 朝食0回・昼食0回・夕食0回 ※機内食別途

≪お問い合わせ・お申込み先≫

○ 株式会社近畿日本ツーリスト北海道 函館営業所
 住所 : 函館市若松町7番16号アルファ函館ビル1階
 電話 : 0138-24-2311 FAX : 0138-22-7727
 担当 : 千葉

プラン2

旅行期間：2020年6月5日（金）～6月10日（水） 4泊6日

設定人数：40名様

	日付	都市名	時間	交通	スケジュール	朝	昼	夕
1	6月5日 (金)	新千歳空港 (日付変更線)	19:45頃	HA442	千歳よりハワイアン航空にてホノルルへ (所要時間 約7時間30分)			機内
		ホノルル空港 着	08:15頃	専用車	入国手続き終了後、専用車にてホテルへ * ホテルチェックインは15:00になります 各自、大会会場下見、登録受付 ホノルル 泊	機内	-	-
2	6月6日 (土)				終日：自由行動 ホノルル 泊	-	-	-
3	6月7日 (日)				終日：国際大会 開会本会議 夜：北海道ナイト開催(予定) ハレクラニホテル・ハウテラス ホノルル 泊	-	-	-
4	6月8日 (月)				終日：自由行動 ホノルル 泊	-	-	-
5	6月9日 (火)	ホノルル空港 発 (日付変更線)	13:15頃	専用車 HA442	ホテルから空港へ ホノルルよりハワイアン航空にて千歳へ (所要時間 約8時間45分) 機内 泊	-		機内
6	6月10日 (水)	新千歳空港 着	17:00頃			機内		

※ 上記は2019年8月30日現在の航空会社のスケジュールであり変更になることもありますのでご了承ください。

- 航空会社 千歳空港発 ハワイアン航空(直行便) 利用
- ご宿泊先 A) アロヒラニ・リゾートホテル ☆☆☆☆クラス 予定 カラカウア通り周辺で立地の良いところ
B) アクアオアシス ジョイ ホテル ☆☆☆クラス 予定 ワイキキ中心でDFS ギャラリーの隣り
- 予定費用 A) お一人様 248,000円(予定) B) お一人様 218,000円(予定)

＜旅行費用に含まれるもの＞

- ・航空料金：ハワイアン航空 エコノミークラス ・宿泊代：2名様1室利用4泊 ・送迎費用：空港～ホテル 往復
- ・団体行動の際は現地係員がご案内いたします。

＜旅行費用に含まれないもの＞

- ・国際大会登録料(各自ご登録下さい)、日本人親善朝食会(任意)、北海道ナイト参加費用、米国ESTA申請
- ・一人部屋ご希望の場合追加料金、千歳・ホノルル空港利用料、燃油費用、滞在中のお食事代、その他

＜お申込み先・お問合せ＞ ※ ご参加予定の方はお早目にご相談・お問合せください。

(株)産経海外旅行 札幌市中央区北1条西7丁目 タキモトビル4階

電話：011-271-5388 FAX 011-271-5621 担当：斉藤、矢田目

新会員のご紹介

(敬称略)

<p>第2グループ</p>  <p>滝川RC 山田 直登 9月12日入会 建築資材販売業</p>	<p>第9グループ</p>  <p>伊達RC 大垣 勲男 9月24日入会 社会福祉施設</p>	 <p>伊達RC 小野 由美 9月24日入会 飲食業</p>	<p>第11グループ</p>  <p>江差RC 大口 範晃 9月3日入会 板金工事</p>	<p>第12グループ</p>  <p>苫小牧東RC 南沢 雄二 10月10日入会 内装工事業</p>
--	---	--	--	--

「九州北部豪雨災害と台風15号による千葉大規模停電義捐金」報告

地区内各クラブに募金のお願いを致しました8月28日からの九州北部地方における豪雨災害と9月9日からの台風15号の影響による千葉県の大規模停電・断水に対する義捐金について下記52クラブから1,931,772円を頂戴致しました。

第2740地区と第2790地区へそれぞれ965,886円ずつ支援・送金し、更に10月開催の当地区大会にて札幌インナーホールクラブより千葉への義捐金を50,000円お預かり致しましたので、合わせてご送金致しましたのでご報告申し上げます。

皆さまの温かいご支援ありがとうございました。



札幌インナーホールクラブの皆さま

深川RC・羽幌RC・留萌RC・赤平RC・滝川RC・江別RC・岩見沢RC・岩見沢東RC・栗沢RC・当別RC
札幌RC・札幌はまなすRC・札幌北RC・札幌モーニングRC・札幌西RC・札幌手稲RC・札幌東RC
札幌清田RC・札幌幌南RC・札幌真駒内RC・札幌南RC・新札幌RC・岩内RC・小樽RC・小樽南RC・余市RC
千歳RC・千歳セントラルRC・恵庭RC・北広島RC・長沼RC・えりもRC・静内RC・伊達RC・室蘭RC
室蘭北RC・登別RC・洞爺湖RC・函館RC・函館亀田RC・七飯RC・長万部RC・函館セントラルRC・江差RC
函館五稜郭RC・函館東RC・函館北RC・北斗RC・白老RC・苫小牧RC・苫小牧東RC・苫小牧北RC

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

手稲RC 久末 満三 会員 (6回) 9月24日

米山功労クラブ

江別RC (10回) 9月26日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

滝川RC	西田 浩二 会員 (1回) 9月30日	札幌手稲RC	三戸 義美 会員 (2回) 9月25日
滝川RC	奥山かおる 会員 (1回) 9月30日	札幌手稲RC	山地 庸夫 会員 (7回) 9月25日
岩見沢RC	大屋 均 会員 (7回) 9月26日	札幌手稲RC	針谷 龍宜 会員 (8回) 9月25日
札幌清田RC	小仲美智子 会員 (1回) 9月27日		

ポール・ハリス・フェロー

札幌手稲RC 濱本 光一 会員 9月25日
札幌手稲RC 曾我 千鶴 会員 9月25日



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

10月は★米山月間

Vol. 235

2019年10月11日
発行

1. 米山梅吉記念館 50周年記念式典で学友が活躍

公益財団法人米山梅吉記念館の創立50周年式典が、9月14日、東レ総合研修センター（静岡県三島市）で開催されました。全国から約750人が登録する盛会で、三島駅および記念館と式典会場を結ぶシャトルバスが到着するたび、多くのゲストが来場。第2620地区米山学友会のメンバーも受付や会場内の案内に協力しました。

式典の第1部では、「米山梅吉記念館 特別功労賞」の受賞団体として当会も表彰されました。また、第2部では、台湾の故宮博物院初の女性院長をつとめ、現在は国家芸術基金会理事長など台湾美術界の要職にある米山学友の林曼麗さん（1981-83・96／東京保谷RC）が「己欲立而立人 己欲達而達人—米山梅吉の価値観について」と題する記念講演を行いました。講演の中で林さんは、常に他者を自分のように考える仁者についての論語の一節を引用し、「利他の精神」を実践する梅吉翁の生き様と中核的価値観、前例のないことに挑戦するイノベーターとしての功績を紹介。最後に長年、美術館・博物館の運営に携わってきた経験から、米山梅吉記念館へ向け「閉ざされた箱から、解放された場に」など3つの提言を送って締めくくり、会場から万雷の



「魁の人 米山梅吉 あなたへ」が、圧巻の演技と語りで会場を引き込み、感動のうちに閉会を迎えました。

拍手を受けました。

そのほか、映像で綴る米山梅吉の足跡「米山梅吉の跫音」が上映され、会場を沸かせたほか、女優・大塚良重氏によるひとり語り



お知らせ

米山梅吉記念館50周年に合わせ、当奨学会では、記念館2階展示エリアの事業紹介パネルに代えて、8月下旬にディスプレイを設置しました。8分間の動画で、事業の概要をわかりやすく紹介しています。米山梅吉記念館にお出かけの際は、ぜひこのディスプレイにも足を止めて、米山記念奨学事業の紹介ビデオをご覧ください。



2. 寄付金速報 — 米山月間にご協力を！ —

9月までの寄付金は前年同期と比べて1.5%増（普通寄付金:0.4%減、特別寄付金:4.0%増）となり、約570万円の増加でした。2019年度に入り、前年度比が初めてプラスに転じました。直近10年間の9月分のみの単月比較では、それぞれ9月に1千万円のご寄付をいただ

いた2014, 2017年度の次に高い寄付額となり順調に推移しています。

10月は米山月間です。日本のロータリーが作り育てた独自の米山記念奨学事業を、引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

RIの新しい戦略計画と会員基盤向上について考える

2019年7月1日より、国際ロータリーの新しい戦略計画がスタートしました。

2007年から始まった戦略計画（当時は長期計画）ですが、その後、定期的に改定されながら、今回の抜本的な変更となりました。

2016-17年度の一年間を掛けて、現会員、元会員、ローターアクター、学友、青少年交換学生、ロータリー職員、その他一般の人びとを含めて、世界全体で100万人を超える人たちにアンケート調査などを行なった結果、将来のロータリーのあるべき姿や方向性がビジョン声明と言う形で発表されました。しかし4月の規定審議会でローターアクタークラブがRIへの加盟が認められたことに伴い、和訳の「私たちロータリアンは」の「ロータリアン」を削除して、英語のWEとそろえて、

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

と変更されました。

このビジョンに基づいて決定されたのが、今回の戦略計画であり、7月から実施される優先事項と目的であります。この優先事項や目標は、ビジョンを実現するための行動計画アクションプランと言う位置付けになっております。今回、この中から、会員基盤に関する項目をピックアップしてみると、以下のようになっています。

参加者の基盤を広げる

- ・会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する（会員数の増加と多様化推進）
- ・ロータリーへの新しい経路を創り出す（新しいタイプのクラブ創設）
- ・ロータリーの開放性とアピール力を高める（多様性のある人材獲得）
- ・活動成果とブランドに対する認知を築く（イメージ向上による増強）

今年の国際協議会でも、ヒューコ事務総長は、クラブの柔軟性の更なる推進を強く訴えています。例会のあり方、新たな会員の種類の創設、若者を対象にした新しいタイプのクラブの創設などです。まさに、『世界を変える行動人』として、実践活動主体のクラブ運営を強く推進しようという方向性であります。

このようなRIの方針に従って各クラブが独自の具体的な行動計画を立てることは確かに、一つの考え方ですが、各クラブの独自性、個性も考慮し、行動計画を立てる事が肝要と考えます。

現在、革新性と柔軟性は、ロータリーの未来を定義するものであり、「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」という、ロータリーの新しい戦略計画 (<https://my.rotary.org/ja/strategic-plan>) の基本的な柱となっています。

しかし、ポール・ハリスが言った「世界は常に変化して行く……ロータリーの物語は幾度も書き換えられなければならない」と言う意味は、「ロータリーの奉仕の哲学を以て、日々変化する社会の要請に対応し、応えなければならない」と言う意味であります。

そのためには、まず何と云っても、クラブのビジョンづくりが大切であります。

一言でいえば、クラブの旗印が必要と言う事です。一体このクラブは何を目指しているのか、なぜこのクラブが必要なのか、なぜこのクラブに入らなければならないか、全員がストンと腹に落ちる答え、未来像です。言い換えれば、クラブの魅力づくりであり未来の成長戦略にとっての重要な土台となります。ロータリーを学びロータリーの未来を創造していただきたいと思えます。

第2地域ロータリーコーディネーター補佐 剣田 廣喜

地区カレンダー(11月・12月)

11月 ローターリー財団月間	
1(金)	
2(土)	
3(日)	文化の日
4(月)	振替休日
5(火)	公式訪問(当別RC)
6(水)	公式訪問(札幌モーニングRC)
7(木)	公式訪問(美唄RC)
8(金)	
9(土)	第3グループIM(岩見沢) 札幌幌南RC親子暗唱大会
10(日)	
11(月)	公式訪問(長沼RC)
12(火)	公式訪問(千歳セントラルRC・北広島RC)
13(水)	公式訪問(恵庭RC)
14(木)	公式訪問(由仁RC)
15(金)	
16(土)	財団地域セミナー(神戸) ～17日(日)新会員合宿セミナー(千歳)
17(日)	ガバナー会(神戸)
	ガバナーエレクト研修セミナー(神戸)
	ガバナーノミニー研修セミナー(神戸)
18(月)	～19日(火)ロータリー研究会(神戸)
19(火)	
20(水)	
21(木)	公式訪問(千歳RC)
22(金)	
23(土)	勤労感謝の日
24(日)	
25(月)	
26(火)	
27(水)	
28(木)	
29(金)	
30(土)	財団補助金管理セミナー(札幌)

12月 疾病予防と治療月間	
1(日)	米山学友会総会(札幌)
2(月)	
3(火)	
4(水)	
5(木)	
6(金)	
7(土)	次期ガバナー補佐会議(札幌)
8(日)	
9(月)	
10(火)	
11(水)	
12(木)	
13(金)	
14(土)	
15(日)	
16(月)	
17(火)	
18(水)	
19(木)	
20(金)	
21(土)	
22(日)	
23(月)	
24(火)	
25(水)	
26(木)	
27(金)	
28(土)	
29(日)	
30(月)	
31(火)	

2019年11月のロータリーレート

1ドル 108円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2019.7.1	2019.9.30	増減	内女性	
1	深 川	2	31	31	0	1	86.83
	羽 幌	3	43	43	0	2	63.57
	妹背牛	4	6	7	1	0	78.57
	留 萌	3	29	31	2	3	79.30
	小 計		109	112	3	6	77.07
2	赤 平	3	24	24	0	2	85.94
	芦 別	3	30	30	0	2	73.80
	砂 川	4	40	41	1	1	93.58
	滝 川	4	92	97	5	4	65.00
	小 計		186	192	6	9	79.58
3	美 唄	3	26	25	-1	0	90.67
	江 別	4	34	38	4	1	83.20
	江 別 西	4	35	35	0	4	72.80
	岩 見 沢	4	87	89	2	0	94.38
	岩見沢東	4	17	16	-1	2	75.64
	栗 沢	2	18	18	0	1	90.70
	栗 山	2	27	27	0	5	100.00
	当 別	3	29	29	0	0	88.30
	小 計		273	277	4	13	86.96
4	札 幌	3	127	132	5	2	94.70
	札幌はまなす	2	18	18	0	2	77.78
	札 幌 北	3	45	45	0	5	77.35
	札幌モーニング	3	31	34	3	0	74.07
	札 幌 西	3	50	50	0	9	70.69
	札幌西北	2	33	32	-1	3	83.50
	札幌手稲	3	40	39	-1	4	84.00
	小 計		344	350	6	25	80.30
5	札 幌 東	3	121	119	-2	0	94.83
	札幌清田	2	12	12	0	3	91.66
	札幌幌南	3	56	58	2	2	96.97
	札幌真駒内	3	24	24	0	6	100.00
	札 幌 南	3	92	92	0	2	96.76
	札幌大通公園	2	13	13	0	3	65.38
	札幌ライラック	2	19	20	1	7	74.00
	新 札 幌	3	29	28	-1	5	76.13
小 計		366	366	0	28	86.97	
6	岩 内	3	20	24	4	1	81.92
	倶 知 安	2	34	34	0	3	68.00
	小 樽	4	74	77	3	6	86.33
	小樽南	4	64	64	0	4	76.60
	小樽銭函	3	22	22	0	1	80.00
	蘭 越	2	8	8	0	0	87.50
	余 市	4	42	42	0	4	73.80
小 計		264	271	7	19	79.16	

9 月 出 席 率 ・ 増 減 数	クラブ数	70クラブ
	期首会員数	2,584人
	当月末会員数(女性)	2,638人(175人)
	増加会員数	54人
	当月平均出席率	80.43%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2019.7.1	2019.9.30	増減	内女性	
7	千 歳	3	74	77	3	11	83.60
	千歳セントラル	2	42	43	1	9	74.42
	恵 庭	4	52	51	-1	3	76.07
	北 広 島	3	15	16	1	0	85.42
	長 沼	3	17	17	0	3	85.50
	由 仁	2	8	8	0	0	44.00
	小 計		208	212	4	26	74.84
8	え り も	2	20	20	0	1	97.50
	三 石	3	12	12	0	0	76.60
	様 似	3	16	16	0	1	76.04
	静 内	3	69	69	0	4	87.66
	浦 河	2	27	28	1	3	78.57
	小 計		144	145	1	9	83.27
	9	伊 達	3	63	66	3	2
室 蘭		4	28	32	4	2	79.60
室 蘭 東		4	35	35	0	3	79.30
室 蘭 北		4	49	51	2	2	83.16
登 別		4	26	29	3	1	72.41
洞 爺 湖		2	11	11	0	0	100.00
小 計			212	224	12	10	81.79
10	函 館	4	76	81	5	2	75.56
	函館亀田	3	37	37	0	4	70.27
	森	3	35	35	0	0	83.00
	七 飯	4	12	12	0	0	62.50
	長 万 部	2	10	10	0	0	60.00
	函館セントラル	4	26	28	2	2	74.36
	小 計		196	203	7	8	70.95
11	江 差	2	10	11	1	1	68.00
	函館五稜郭	4	54	54	0	0	81.48
	函 館 東	4	42	41	-1	8	72.44
	函 館 北	3	19	19	0	0	85.67
	北 斗	4	12	12	0	0	77.10
	小 計		137	137	0	9	76.94
12	白 老	2	30	33	3	3	68.95
	苦小牧	4	60	61	1	3	81.63
	苦小牧東	4	27	27	0	5	87.08
	苦小牧北	4	28	28	0	2	91.35
	小 計		145	149	4	13	89.64
合 計		2,584	2,638	54	175	80.43	

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数11名(内女性会員0名)を含む

職業奉仕小話

「売れ残りのレインコート」

パーシー・ホジソン元RI会長の著書『奉仕こそ我が努め』の中の、デパートでの話です。

そのデパートのレインコート売場には、沢山の商品が売れ残っておりまして。

店主は、そのレインコートを早く処分して、その後に新しい商品を入れたいので、広告係主任にその処分を命じました。その主任は、翌朝の新聞に広告を出しました。

『実を言うと、当店は、処分しなければならない売れ残りのレインコートを沢山手持ちしています。それは店晒し品であり、中にはいたんだ物もありますが、それを捨て値で提供します。中には新品同様の物もありますが、もし売れなければ、川に流してしまうしかないでしょう。いずれにしても格安のお値段であり、お買い得でございますから、どうぞお越し下さい』

店主は、この広告を見て激怒しました。

『売れ残りのレインコート、店晒しのレインコートとは、なんという広告か。一体、何を考えているのか』と。

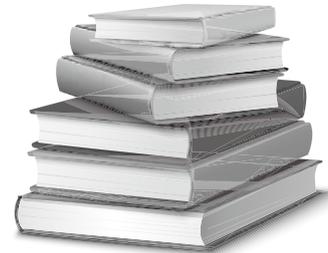
早速、店に着くと直ぐ、『広告係主任を呼べ!』と言って怒りました。

他の店員が不思議に思って、『何故そんなに怒っているのですか?』と尋ねたところ、『レインコートの特売の広告を見たか、あれは一体何たることか!』

『しかし、レインコートはわずか30分で全部売り切れてしまいましたよ』

客は何を買ったのか。真実を買ったのであります。広告の絶対的な率直さを客は気に入ったのであります。とにかく物を売りたいために誇大広告をすること、天に向かって唾を吐くようなものであって、結局は、その商人のためにはならない、信用を失墜する、したがってそれは、長期的に安定した利潤を得ることにはならないのであります。『真実のみ語れ』とロータリーは説くのであります。

文庫通信 (379号)



「ロータリーの基本」とは?これまで多くの先達が語ってきた。今回、このことを考えさせてくれるロータリーの地区大会やIMでの記念講演をいくつか選ばせていただいた。特に、ビチャイ・ラタクル元RI会長は日本のいくつもの地区で多くの感動的な講演を残されている。その中でも、国際ロータリーのあり方に大きな変化をもたらした2016年の規定審議会直後の青森での講演は、ロータリーの基本とロータリアンのあるべき姿を分かりやすく語りかけてくれた忘れえぬ講演である。

2019年10月 記念講演

“Back to Basics” ロータリーの基本に返ろう

ビチャイ・ラタクル [2015] 45p ※
D.2830西第1グループ I.M.

他人の金で奉仕をするという虚構

佐藤千壽PG遺稿 (D.2790土屋亮平PG代読) [2008] 9p ※
D.2760地区大会

ロータリアンの矜持

藤川享胤 D.2590地区大会 [2017] 8p ※

Rotary—かえりみて、あすを考える

久野薫 D.2630地区大会 [2017] 16p ※

奉仕の心

阿部志郎 D.2780地区大会 [2001] 7p ※

日本人とロータリー

前原勝樹 D.261地区大会 [1979] 11p ※

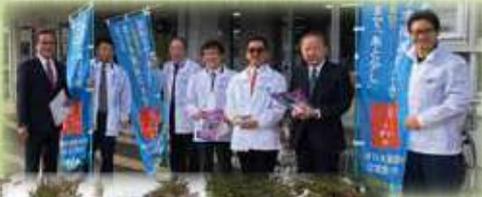
・上記 ※印はデジタル化されている資料です。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



ロータリーは
世界をつなぐ



第3グループ
江別ロータリークラブ



第3グループ
江別西ロータリークラブ



第4グループ
札幌はまなすロータリークラブ



第5グループ
札幌東ロータリークラブ



第5グループ
札幌真駒内ロータリークラブ



第5グループ
札幌南ロータリークラブ

